

♪わが家のアイドル♪



梅の里
 玉川 紬ちゃん(8カ月)
 雄心ちゃん(2歳)
 勝磨ちゃん(4歳)
 絆ちゃん(8歳)
 いつもあなたたち四人に幸せをもらっています。



藤沢台
 昇高 蒔喜ちゃん(5カ月)
 伶珂ちゃん(4歳)
 我が家の天使達☆生まれてきてくれてありがとう☆



錦織中
 山崎 陽奈乃ちゃん(1歳)
 いつも笑顔のひなのちゃん♡
 これからも元気に育ってね☆



寿町
 松尾 柊哉ちゃん(9カ月)
 生まれてきてくれてありがとう♡
 これからも元気に育ってね!



桜井町
 竹中 泰真ちゃん(10カ月)
 元気に育ってね。たいし大好き♡



五軒家
 安川 采杏ちゃん(10カ月)
 お外で遊ぶのが大好きなことあちゃん☆



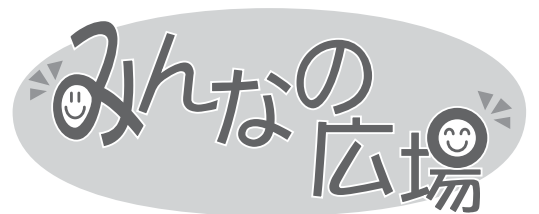
高辺台
 宮井 結士ちゃん(2カ月)
 生まれてきてくれてありがとう♡



高辺台
 堀川 将傑ちゃん(4カ月)
 大きくすくすく成長してね!
 いつも笑顔をありがとう!

宛先

584-8511
 常盤町1番1号
 富田林市役所都市魅力課
 住所・氏名(ふりがな)・電話番号



川柳・短歌は、それぞれ別のがきで応募してください(1人各5点まで)。市内在住の人で未発表のものに限ります。作品の漢字や氏名には必ずフリガナをつけてください。
 5月号の「短歌」は3月31日(水)、7月号の「川柳」(宿題「駅」)は5月31日(月)までに応募(いずれも必着)してください。宛先は右記をご覧ください。

俳句のコーナーは、都合によりしばらくの間、休ませていただきます。毎回お楽しみにされている皆様にはご迷惑をお掛けしますが、ご理解のほどよろしくお願ひします。
 ※令和3年4月号は「川柳」を掲載します(なお、応募は2月28日で締め切りました)。

わが家のアイドル(対象年齢は4歳未満、兄弟・姉妹と一緒に写っている写真でも可)は、写真に、メッセージ(20字程度)を添え、住所、保護者とお子さんの名前(ふりがな)、撮影時の年齢(月齢)、電話番号を記入し、封書で上記の宛先まで応募してください。また、市ウェブサイトからもご応募いただけます(右図のQRコードから応募ページにアクセスできます)。なお、今応募された場合、掲載は約6カ月後になります。



わたしのまちの文化財

「もずふる」時代の富田林

百舌鳥・古市古墳群が世界遺産に登録され、1年以上が経ちました。藤井寺・羽曳野市域に巨大古墳が造られた5世紀、同じ南河内の富田林はどんな状況だったのでしょうか。まず、古墳時代の始まりから見ていきましょう。

日本で最初の巨大古墳は、奈良盆地にある箸墓古墳です。3世紀中頃に亡くなった卑弥呼の墓との説が有力です。南河内に古墳が現れるのは4世紀前後で、最古級の前方後円墳である真名井古墳（南旭ヶ丘町）から見つかった鏡は、中国が卑弥呼に贈ったうちの1枚との説もあります。その後、丘陵上には前方後円墳の甘山古墳（甘山）や円墳の板持丸山古墳（東板持町）などが次々と造られ、それからから見つかったとされる矢じりや鏡が、東京国立博物館に保管されています。

また、令和元年に調査した樟木谷古墳（美山台）は、近くに存在した方墳の宮林古墳と同じ形で、古墳の向きをそろえていたことが分かりました。斜面からは柱穴が1つ見つかったおり、柱を立てて祭祀を行っていたのでしょうか。

このように富田林は、南河内の中では早くから古墳を造る有力者がいた地域だったのです。しかし、5世紀に入ると古墳が少なくなることから、勢力が弱まったとの見方もありました。しかし、今、それを覆すものとして、錦織に存在した2つの古墳が注目を集めています。

市営甲田住宅の付近には、昭和初めまで円墳の川西古墳があり、鉄製の甲冑が見つかったとされてきました。調査が古いこともあって実態は不明でしたが、当時調査した研究者によって、関西の大学に資料が保管されていました。

また、川西古墳に接する錦織遺跡（錦織東）には、未知の古墳が眠っているようです。平成28年の調査で、住宅街の下から古墳の表面を覆う葺石とみられる石積みが見えたので、市内で葺石をもつ古墳は珍しく、立派な古墳であったことがうかがわれます。川西古墳と同じ5世紀代のものと考えてよいでしょう。



錦織遺跡で見つかった葺石

権力の象徴でもある甲冑をもつ古墳と、地中に埋もれていた古墳。「百舌鳥・古市古墳群」時代の富田林のイメージが変わりつつあります。

文化財課（内線432）

近年、ゲリラ豪雨や台風などによる大雨で、雨水が水路や下水道などに一挙に流入し、雨水処理能力を超えてあふれる「内水はん濫」が発生しています。

同マップは内水はん濫による浸水被害の想定区域や避難場所などの情報を提供するとともに、自助・共助・公助や防災意識の向上、浸水に対する備えに活用していただくものです。危険な箇所を確認するとともに、内水はん濫による浸水被害へのいざという時の備えをしておきましょう。※同マップは市ウェブサイト（下水道課のページ）からもご覧いただけます。

●公共下水道における汚水処理の現状と課題

本市の公共下水道は、家庭などのお風呂や台所、トイレで使用した水（これらを汚水といいます）と雨水を分ける分流式を採用しています。汚水は、汚水管を通過して、水みらいセンター（下水処理場）まで運ばれ、きれいな水に処理して川などに流しています。一方、雨水は雨水管を通過して、直接、川などに流しています。

しかし、いろいろな要因で汚水管に雨水が流れ込み、雨天時には同センターの処理能力や処理費用を圧迫しています。本市では汚水管に雨水を流入させない取り組みを実施していきますので、市民の皆さんのご理解とご協力を、よろしくお願いいたします。

問い合わせ 下水道課（内線262）



～快適で衛生的に暮らすために必要な下水道～

●下水道整備工事もついにクライマックスです

市民の皆さんのご理解とご協力もあり、令和元年度末時点は下水道普及率が92.7%となり、現在は市街化調整区域を中心に下水道整備工事を行っています。今後、未だ整備されていない地区の皆さんにご意向を伺いながら、令和6年度を目標にいったんは事業の区切りを考えています。以降については、本市が管理する下水道施設の老朽化対策や地震対策などを中心に事業を行っていきます。

●内水はん濫ハザードマップの活用を

本市では、令和元年2月ごろに「内水はん濫ハザードマップ」をNTTタウンページの「防災タウンページ」と併せて市内全戸に配布しました。